

## 2. 方法

- ・クラス内の児童生徒についての実態把握と目標設定を行い、目標達成に向けての支援の手立てについて立案した。
- ・各学期末ごとに、成果・課題、また今後の支援の方向性について小グループで意見交換を行い、自立活動の取り組みについて深める時間を設けた。
- ・年間を通しての取り組みや児童生徒の変化について、教員各自が自立活動実践シートにまとめた。
- ・梅花女子大学瀧本教授より「SSTを活用した支援」についてご指導いただき、実践方法を校内で研鑽しながら、現場の教員がSSTをどのように感じ、どのような課題を抱えているのか成果と今後の課題をまとめた。